



2008年7月3日

各 位

東京都品川区南大井六丁目 25 番 3 号
日本通信株式会社
代表取締役社長 三田 聖二
(コード番号：9424)
問合せ先 常務取締役 CFO 福田 尚久
電話 03-5767-9100 (代表)

日本通信、待望の 3G による MVNO サービス「b-mobile3G」を 8 月 7 日に新発売

ー ドコモの FOMA ネットワークを利用して全国展開 ー

日本通信株式会社 (以下、「当社」という) は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ (以下、「ドコモ」という) の第 3 世代携帯電話ネットワーク (FOMA ネットワーク) との相互接続による MVNO サービスとして、ノート PC 等で気軽にどこでも高速なインターネットを楽しめる「b-mobile3G」(ビーモバイル・スリージー) を、2008 年 8 月 7 日 (木) に発売します。

今回発売する製品は、150 時間まで分単位でテレホンカードのように使える「b-mobile3G hours150 (アワーズ 150)」で、b-mobile3G シリーズの第 1 弾です。販売店でご購入いただくと、箱の中に USB 3G コネクタ (USB でノート PC 等と接続して使用する 3G データ通信端末) と b アクセス・ソフトウェアの CD が入っていますので、ノート PC に b アクセスをインストールし、USB 3G コネクタを接続すれば、ワンクリックで高速なインターネットを利用できます。購入する際の複雑な契約手続きや面倒な設定等は一切不要です。

想定市場価格は 39,900 円 (税込) で、利用可能期間は 480 日間 (約 16 ヶ月) となっていますので、週に数回程度の利用頻度であれば、月額換算で 2,500 円を下回ります。また、使い切った後は、利用時間や利用期間を更新して引き続き利用できます。インターネットは、固定ブロードバンドの普及によって生活の一部になっており、家やオフィス以外の場所でインターネットにアクセスするニーズは増々高くなってきています。しかし、現在販売されている 3G サービスは、定額使い放題プランが中心であり、価格的にも月額 5,000 円前後から 10,000 円前後と、一部のヘビーユーザーを除く多くの潜在的な利用者にとっては高価なサービスとなっています。もちろん、従量課金方式のサービスも提供されていますが、請求額が気になって使いづらい、というお客様の声も多く伺っています。また、パケット単位で料金を提示されるパケット課金は、実際にいくらかかるのか、ほとんどの方にはわかりづらいものとなっています。b-mobile3G hours150 は、誰にとってもわかりやすい時間 (分) 単位で利用できます。

b-mobile3G hours150 は、週に数回、1 回あたり 1～2 時間程度使用される方々向けの製品です。毎日何時間も使われる方には定額使い放題がお得な料金プランですが、家やオフィスでは固定ブロードバンド環境を利

用される多くの方々には、出張時や外出時等に利用できるサービスが望まれています。

なお、ネットワークは、人口カバー率 100%を誇るドコモの FOMA ネットワークを使用しますので、全国どこに行っても、FOMA 携帯電話が利用できる場所であればご利用可能です。

当社は、2005 年から PHS により b-mobile hours 150 を提供してまいりました。これまで多くのお客様にご利用いただき、多くのご意見やご要望をいただいておりますが、より高速な 3G ネットワークに対応した b-mobile へのご期待を非常に多くいただきました。hours は、「時間」という意味に加え、「私たちのモバイルインターネット」という意味を併せもっています。ヘビーユーザーを中心とした 3G サービスではなく、私たち多くのユーザーが安心して利用できる 3G サービスをご提供し、これまで当社をご支援いただいた全国のお客様にお応えしていきたいと考えています。

当社は、b-mobile3G hours150 を第 1 弾として、今後もお客様のモバイル・ネットワークへのニーズにお応えする、新たな製品・サービスをご提供してまいります。

<b-mobile3G hours150 について>

製品名	b-mobile3G hours150 (ビーモバイル・スリージー・アワーズ 150)
型番	BM-DL3-150H
価格	オープンプライス (想定市場価格 39,900 円 (税込))
利用時間/利用可能期間	150 時間/480 日間 ※利用時間は、1 分単位で減算されます。
パッケージ内容	USB 3G コネクタ、3G データ通信料、インターネット接続料、接続ツール「b アクセス」(日本語版・英語版) 他
通信ネットワーク	ドコモ FOMA ネットワーク (3G)
対応 OS	Windows Vista/XP SP2 以降 (日本語版・英語版)

●b-mobile3G hours150 の主な特長

人口カバー率 100%、高速インターネット

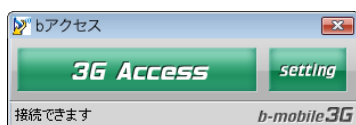
人口カバー率 100%を誇るドコモの FOMA ネットワークを使用しますので、全国どこに行っても、FOMA 携帯電話が利用できる場所であれば高速インターネットをご利用いただけます。

必要なときだけ無駄なく使える人気の hours 版

利用開始日から 480 日以内であれば、累計 150 時間分の 3G データ通信を必要なときに必要に応じて使うことができます。基本料金が発生しませんので、使わない日が 1 ヶ月以上続いても無駄になりません。週に数回、1 回あたり 1～2 時間程度の利用、あるいは公衆無線 LAN のバックアップ回線として、毎日何時間も使わない多くのノートパソコンユーザーに支持されています。

直感的でわかりやすいユーザーインターフェース

接続ツール「b アクセス」は、電波状況や接続状況が視覚的に表示されるだけでなく、わかりやすさと使いやすさにこだわったユーザーインターフェースとなっています。



オール・イン・ワンパッケージ

USB 3G コネクタ、3G データ通信料、インターネット接続料、接続ツール「bアクセス」など、モバイル通信に必要なものが揃ったオール・イン・ワンパッケージ。パッケージを購入後、簡単開通手続きを完了すれば、すぐにモバイル・インターネットを始めることができます。

●USB 3G コネクタ（同梱）の主な仕様

3G/HSDPA の高速通信に対応

USB 3G コネクタは、3G/HSDPA の高速通信に対応。ドコモの FOMA ネットワークにつながり、快適なモバイル・ブロードバンドを実現します。

microSD カードのリーダーライター機能を搭載

携帯電話などでよく採用されている microSD カードのリーダーライター機能を搭載（最大 4GB）。写真データや音楽ファイルなどを、携帯電話からパソコンへあるいはパソコンから携帯電話へと手軽に移すことができます。

形状	USB 接続型
外形寸法	約 26.5×12×69mm（幅×奥行×高さ）
重量	約 30g
通信規格：周波数帯	3G/HSPDA：2100MHz/800MHz（※）

※HSDPA とは、3G 携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した規格です。

●b モバイル「簡単！開通手続き」

お客様の携帯電話または PHS から専用番号にお電話していただき、自動音声ガイダンスに従い商品パッケージに記載の電話番号をダイヤルしていただくだけで簡単に開通手続きを行うことができます。

●更新ライセンスについて

480 日経過するか、150 時間使い終わった後は、USB 3G コネクタをそのまま使用して利用時間や利用期間を延長することができる、b-mobile3G 用の更新ライセンスの発売を、2008 年秋に予定しております。

◆b-mobile3G のパッケージ写真



◆USB 3G コネクタの写真



#b-mobile3G hours150 に関する詳細は、以下の URL をご参照ください。

<http://www.bmobile.ne.jp/personal/3g/>

※本商品は、ストリーミング動画はご利用できない場合があります。また、インターネットへの接続は一定時間で一旦切断させていただく場合があります。会社への VPN 接続等のご利用いただけます。
※商品の仕様および価格は予告なく変更になる場合があります。商品に関する仕様などの詳細は、<http://www.bmobile.ne.jp/> でご確認ください。

以上

■日本通信株式会社 会社概要

社名： 日本通信株式会社（大証ヘラクレス市場：9424）

代表者： 三田 聖二（代表取締役社長）

資本金： 2,294 百万円（2008 年 6 月 30 日現在）

設立： 1996 年 5 月 24 日

事業内容： ●日本初の MVNO（Mobile Virtual Network Operator=仮想移動体通信事業者）
●「インフィニティ・ケア」をサービスコンセプトにした End to End のワイヤレス・データ通信サービスを法人向けに提供
●「どこでもインターネット通信電池」をコンセプトにしたワイヤレス・インターネット接続商品をコンシューマ向けに提供
●ユビキタス社会を実現する「通信電池」を提供、また、新しい通信サービスを各企業と共同で開発

b-mobile、InfinityCare 及び通信電池は日本通信株式会社の登録商標です。文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。